

1 単元名 人権と日本国憲法

「日本国憲法」(全4時間)

岐阜市立明郷中学校 野々村 元

山県市立高富中学校 田中 恒之

2 単元のねらい

日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本原理としていることについて理解を深め、民主的な政治を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解させ、わが国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考える。

3 単元で培いたい学び方

日本国憲法に関する様々な資料を適切に収集、選択活用し、個人の尊厳と人権尊重の意義について正しく認識し、民主主義に関する理解を深める学び方。

4 内容のまとめりとごとの評価規準 公民的分野の内容(3)ア 「人権と日本国憲法」

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
人間の尊重についての考え方と法に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、民主的な社会生活について考えようとしている。	わが国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、民主的な社会生活の在り方について様々な考え方をふまえて公正に判断している。	人間の尊重についての考え方と法に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	人間の尊重の考え方を基本的人権を中心に深め、法の意義と法に基づく政治の大切さ、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていること、天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解し、その知識を身につけている。

5 単元の評価規準

	ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	基本的人権を中心に人間の尊重について意欲的に追究するとともに、人間の尊重や法の必要性に対する関心が高まっている。	自らが自分たちの人権を守るために行動することにより、国民の自由と権利が守られ民主政治が行われていくのだということについて多面的・多角的に考察している。	欧米の人権思想や日本国憲法をはじめとした法に関する資料を課題追究に活用している。 人間の尊重についての考え方やわが国の政治が日本国憲法に基づいて行われているところについての意義などを追究し考察した過程や結果をまとめたり説明したりしている。	すべての人間に保障されるべき基本的人権を中心に、人間の尊重についての考え方を理解し、その知識を身につけている。 平和主義について、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、国の安全と生存を保持しようとする願い戦争放棄を決意したことについて理解し、その知識を身につけている。
学習活動における具体的評価規準	日本国憲法について関心が高まり、意欲的に調べようとしている。 【第1時 感想の記述】	仲間との交流を通して、人権についての自分の考えを深めている。 【第4時 班の交流や発言】	年表から人権の歴史について、時間的な特徴、地域的な特徴が読み取れている。 人権思想はなぜ生まれたのか、資料及び既習事項をもとに自分の考えがつかれる。 【第2時 ノートの記述】	日本国憲法の基本原理について知り、それは国民による政治によって支えられていることを理解する。 【第3時 ノートの記述】

